

政策分野	協定項目	種別	現行ビジョン	R2目標値	新規指標案	基準年	基準値	R7目標値	単位	目標値の考え方
医療		基本目標	病院群輪番制病院及び在宅当番医療制の維持	維持	継続	-	-	-	-	圏域で安定した医療を提供するための休日・夜間を含めた救急医療体制を維持する目標とする。
	地域医療体制の充実・強化	KPI	医療施設数（病院）	7施設	<b>病院群輪番制参加病院数 在宅当番・小児救急医療体制 参加医療機関数</b>	R2	輪番制3 在宅当番35 小児救急4	<b>輪番制3 在宅当番35 小児救急4</b>	施設	休日、夜間にも医療が提供できるよう、現状維持を目標とする。
	医療従事者の確保対策	KPI	医師数（病院）	106人	<b>医師数 看護師数</b>	H29	医師数106.6 看護師数560	<b>医師数106 看護師数560</b>	人	医療水準の維持のため、現状の医師・看護師数の確保を目標とする。
	健康寿命の延伸対策	KPI	悪性新生物死亡率（人口10万対）	450.0	<b>大腸がん検診受診率</b>	H30	14.1	<b>33</b>	%	過去4年間のうち最も高いH27の15.9%と、第2期のしろ健康21計画の目標値50%の中間値である33%を目標とする。
福祉		基本目標	合計特殊出生率	1.60	<b>利用しやすい福祉サービスの提供と充実</b>	-	-	-	-	必要なサービスが受けられる環境整備をする。
	子育て支援の充実	KPI	出生数	370人	継続	R1	293	<b>290</b>	人	出生数は減少傾向にあるが、子育て支援の取組等により維持していくことを目標とする。
	高齢者福祉の充実	KPI	要介護（要支援）認定者数	7,000人	<b>要介護（要支援）認定率</b>	R1	21.7	<b>21</b>	%	高齢者のうち、支援や介護を必要とする割合を表す。この割合は少ないことが望ましいが、横ばい～微増で推移しているため、現状の水準を目標とする。
教育		基本目標	文化会館及び図書館の維持	維持	継続	-	-	-	-	圏域住民が文化会館・図書館を利用できる環境を維持する。
	学校教育の充実	KPI	圏域内居住による奨学金の返還支援件数	40件	継続	R1	32	<b>60</b>	件	これまでの奨学金利用の実績から、返還支援件数は年6件のペースで増加すると見込む。償還完了者の発生による減少を考慮して60件を目標とする。
	生涯学習機会の充実	KPI	文化会館利用者数	105,000人	<b>社会教育施設(図書館・スポーツ施設除く)利用者数</b>	R1	431,350	<b>450,000</b>	人	過去3か年平均が451,025人であり、人口減少を勘案し、450,000人以上の利用者数を目標とする。
	生涯学習機会の充実	KPI	図書館利用者数	115,000人	継続	R1	127,198	<b>115,000</b>	人	人口減少を勘案し、現行ビジョンの目標である115,000人に以上の利用者数を目標とする。
産業振興		基本目標	事業所数 従業者数	4,200箇所 31,000人	<b>人口1人あたりの住民所得の向上</b>	-	-	-	千円/人	圏域住民1人あたりの所得の向上を目標とする。 参考H28 2,371 H29 2,500
	広域観光の推進	KPI	延べ宿泊者数	186,000人	延べ宿泊者数	R1	189,196	<b>195,000</b>	人	あきた白神ツーリズムのR4の目標値を参考として設定する。
	地域資源を活用した経済の活性化	KPI	行祭事・イベント入込客数	900,000人	継続	R1	662,881	<b>660,000</b>	人	H30, R1の実績は60万人台で推移しており、R1の水準以上を目標とする。
	企業誘致等による雇用機会の確保	KPI	新規高卒者の圏域内への就職割合	40.0%	継続	R1	42.5	<b>50</b>	%	40%前後の水準を維持し、徐々に上昇している。圏域内企業のPR等により50%を目標とする。
	農林水産業の担い手育成	KPI	新規就農者数	35人	<b>新規就農者数（5か年累計）</b>	R1	16	<b>100</b>	人	H27からの5か年累計が148であり、これまでの7割程度の就農者数を目標にする。 $148 \times 0.7 = 103.6 \approx 100$

政策分野	協定項目	種別	現行ビジョン	R2目標値	新規指標案	基準年	基準値	R7目標値	単位	目標値の考え方
地域公共交通		基本目標	路線バス等の輸送人員	446,000人	公共交通カバーエリアの維持	R1	-	-	-	圏域住民が公共交通を利用できる環境を維持する。
	地域公共交通の維持確保及び利用促進	KPI	路線バス等の輸送人員	446,000人	継続	R1	340,207	340,000	人	人口減少等により利用者は減少しているが、利用しやすい環境を整えることで現状の水準以上を目標にする。
		KPI	大館能代空港総利用者数	145,000人	継続	R1	148,761	150,000	人	コロナの影響で1日1便体制になっているため、2便体制に戻し現状の水準以上を目標とする。
道路等の維持管理の連携		基本目標	道路及び道路構造物の効率的な維持管理	維持	継続	-	-	-	-	必要な補修等を行い、道路及び道路構造物を維持することを目標とする。
	道路等の維持管理の連携	KPI	道路及び道路構造物の効率的な維持管理	維持	継続	-	-	維持	-	必要な補修等を行い、道路及び道路構造物を維持することを目標とする。
地域内外の住民との交流・移住促進		基本目標	人口の社会増減数	△320人	人口の社会増減数の減少幅の抑制	R1	-444	-	人	社会増減の減少幅は広がっているが、若者の地元定着やUターンの取組により減少幅を抑える。 参考 R1 -444
	移住定住の促進	KPI	市町への相談等を経た移住者数	50人	市町への相談等を経た移住世帯数（5か年累計）	R1	32	300	世帯	毎年、前年比+7世帯の新規移住世帯を見込む。R1の移住世帯数32世帯を基準とし、R3は46世帯、R4は53世帯、R5は60世帯、R6は67世帯、R7は74世帯の新規移住世帯数を目安として、R3～R7の累計目標を300世帯とする。
	婚活支援事業の充実	KPI	婚姻数	250件	継続	R1	213	220	件	人口減少による減が見込まれるが、婚活支援の推進により現状の水準以上を目標とする。（過去5年間の平均217件）
	情報発信の強化	KPI	市町ホームページアクセス数	1,000,000件	継続	R1	1,258,173	1,600,000	件	現行ビジョンの目標に対し約30%の伸びがあった。更なる取組の強化を図ることとし、5年間でさらに30%の伸びを目標とする。 1,570,000×1.3=1,635,625
その他	松枯れ被害の対策	KPI	民有林における松くい虫被害量	10,000m <sup>3</sup>	継続	R1	3,995	4,000	m <sup>3</sup>	過去10年のうち最も良い状態であったR1の水準よりも抑える目標とする。
圏域内市町職員の交流		基本目標	能代山本定住自立圏構想検討会の開催	維持	継続	R1	1	-	-	4市町の担当職員で構成する検討会を開催し、連携事業を検討する。
	圏域市町村の交流・合同研修	KPI	定住自立圏研修等の実施	1回/年	継続	R1	1	1	回/年	定住自立圏の取組につながる研修等を年1回以上実施することを目標とする。